

NEWS RELEASE

2025年12月25日
宮古新電力株式会社

新たな地産電源（夜間連系太陽光）調達開始に伴う 宮古市産CO2フリーオプションメニューの提供開始について

- ◆宮古新電力において脱炭素先行地域事業の一つである夜間連系太陽光事業にて開発された地産電源を調達開始し、その電源を活用した実質再エネプランの提供を開始しました。

宮古新電力株式会社（代表取締役社長：今村 瑛子、岩手県宮古市、以下、宮古新電力）は、2025年12月より新たな地産電源として夜間連系太陽光発電の電源を調達開始いたしました。また、調達開始に合わせ、実質再エネプランの提供を開始しましたのでお知らせします。

1. 夜間連系太陽光の調達開始について

宮古市は「宮古市 2050 年ゼロカーボンシティ」を表明し、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導入促進により 2050 年までに CO2 の排出を実質ゼロにする取り組みを進めており、2022 年 11 月に「脱炭素先行地域」に選定されています。当社は、この「宮古市脱炭素先行地域づくり事業」の一環として開発された「夜間連系太陽光発電所」の地産電源を 2025 年 12 月より調達開始いたしました。

夜間連系太陽光発電所は、2015 年に宮古市内で運転を開始し、宮古新電力で既に調達している田老太陽光発電所の隣に、新たに太陽光発電所と蓄電池を設置するもので、昼間に発電した電気を蓄電設備にて充電し、夕方から夜間にかけて放電を行うことによって、昼夜を問わず安定的な電力供給を目指すものです。2025 年 12 月 20 日現地にて竣工式が執り行われました。

2. 宮古市産 CO2 フリーオプションメニューの提供開始について

今回、夜間連系太陽光発電所の竣工に合わせ、宮古新電力から宮古市産 CO2 フリーオプションメニューとして、地産電源の環境価値を脱炭素先行地域内の公共施設 18 施設に供給することとなりました。これにより、年間約 3,900,000kWh の電力が再エネ由来電力となり、約 1,600t の CO2 削減が見込めます。

3. 再エネ地産地消の証の授与について

この取組が再生可能エネルギーの地産地消、地域脱炭素に寄与する取組であることを、市民のみなさまに目に見える形で知っていただけるように、契約対象施設に「再エネ地産地消の証」をお渡しし、掲示いただく予定です。「再エネ地産地消の証」は、夜間連系太陽光発電所の竣工式にて、宮古新電力より宮古市長へ授与させていただきました。



今後の展望

宮古新電力は、今後も、宮古市の再生可能エネルギーの地産地消や地域脱炭素に寄与するような環境価値の提供を進め、宮古市内のカーボンニュートラル実現に向けてさらに貢献してまいります。

以上